

2016 年度 北東北国立 3 大学男女共同参画シンポジウムを開催

The Northern Tohoku regional symposium on gender equality 2016 was held

2016 年度北東北国立 3 大学連携推進会議連携協議会男女共同参画シンポジウムが 9 月 16 日（金）、岩手大学にて開催されました。北東北国立 3 大学は、2010 年度より男女共同参画を連携して推進してきました。今年度は「女性活躍推進による地域の持続的発展を目指して」をテーマとし、女性が能力を発揮し活躍できる組織や地域となるために大学が取り組むべき役割に焦点を当て、シンポジウムを開催しました。

特別講演では、文部科学省生涯学習政策局長の有松育子氏が女性活躍の推進に向けた政策動向についてご講演。世界や日本における男女共同参画の現状や施策等についてご説明いただきました。続く基調講演では、科学技術振興機構理事長で科学技術・学術審議会会長の濱口道成氏より「女性が拓く 日本の未来～女性リーダーを育てる：私の経験から～」と題し、国立大学や研究機関における男女共同参画の実態に即した具体的な課題や対策について、名古屋大学における取組の成果を交えてご講演いただきました。



次に、各参加大学の男女共同参画推進室長より、各大学における女性活躍行動計画について事例報告があり、それぞれの大学の特色や課題を反映した取組について、情報を共有しました。続いて、パネルディスカッションでは、「大学における女性活躍推進のための取組」について、秋田大学理事・副学長の近藤克幸氏、弘前大学理事・副学長の大河原隆氏、本学の岩淵明学長が意見交換を行いました。

シンポジウムの最後には、本学学長が「北東北国立 3 大学 男女共同参画推進のための共同宣言 2016」を読み上げました。地域の持続的発展には多様な人々の能力発揮が重要であり、そのために各大学が地域の拠点大学として、相互の連携を図りながら地域を先導していくという強い意志を示しました。

